

第59回東洋東南アジア・フォーラム

in 済州島



編集後記 地区広報(MC)委員長 徳山 性培

ゆうあい273号は、特別企画として「日本ライオンズ大学校講師のご紹介」を掲載しました。講師の皆様には取材にご協力を賜り御礼申し上げます。講師の人となり十二分に伝わったと思います。各クラブが、例会等に講師をお招きする際の参考の一助になれば幸いです。

また、地区ガバナー公式訪問に随行させて頂き、各ゾーンそれぞれが持つ雰囲気や個性の違いを感じました。東洋東南アジア・フォーラムでは、同じ奉仕活動を目的に集う他国のメンバーに触れ、奉仕活動の意義を再確認することができました。メンバーの皆様、国際大会に是非ご参加ください。

発行者：地区ガバナー 津田 勝之

発行：ライオンズクラブ国際協会335-B地区 広報(MC)委員会

編集者：委員長/徳山 性培(東大阪河内)

委員/岡 博文(大阪新梅田シティ)・石原 力(大阪城東)・佐々木 健(大阪ドリーム)・中尾 克雄(豊中南)・淀 大輔(枚方ローズ)

神崎 崇(和泉大阪)・成子 年男(岬)・小谷 耕司(那賀)・中川 彩(白浜南)・山野 桂祐(東大阪大東)・桑野 聡史(藤井寺)

事務局：〒541-0048 大阪市中央区瓦町 4-4-8 2F TEL / 06-6222-7331 FAX / 06-6222-7336 地区ホームページ / <https://www.lc335b.gr.jp>

Together We can

LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 335-B
OFFICIAL PUBLICATION



No. 273

2022
December 25



335-B地区専用
アプリQRコード

ライオンズクラブ国際協会335-B地区広報誌

ゆうあい

2022~2023 335-B地区 地区ガバナー スローガン

温故知新

~つなぐ未来~

地区ガバナー 津田 勝之



温故知新

今年度の地区ガバナー公式訪問は、8月8日からスタートし10月11日に全23ゾーンを終了いたしました。今年度より、地区ガバナー公式訪問質問書の回答方法がWeb報告に変更され、多少戸惑ったクラブもあったようです。

第1部は全体会議とグループ別懇談会が行われました。1つ目のグループは、地区ガバナー・第2副地区ガバナー・RC・ZC・クラブ会長、2つ目のグループは、第1副地区ガバナー・キャビネット幹事・キャビネット会計・クラブ第1副会長(2023～2024年度クラブ会長予定者)・クラブ幹事がそれぞれ出席しました。

第2部は、ゾーン合同例会が行われました。

7R1Z 8月23日(火曜日)

堺LC

未来への不安に対する質問に、会員の増加に伴い、意思疎通が難しくなっている。楽しい例会を目指し、新会員にも楽しんでいただくためにゴルフやボーリング、また今年からグルメ会を作ります。

骨髄バンク登録に積極的ではなかったが、今後は、推進に努めたい。

堺浜寺LC

世界遺産、百舌鳥・古市古墳群を1Z・2Z合同で、堺市・堺市教育委員会・堺ユネスコ協会そして市民のみなさんと共に盛り上げて行く。

大阪府立堺工科高校(定時制)が、東北支援をするお手伝いをします。

フードドライブについては、地域のスーパーに協力してもらい食品を集め、持ち込み社協に展示していただいて堺全体で利用していただく。

酒匠の会を地区同好会にする。

堺陵東LC

会長・幹事が、6月からメンバー一人一人の会社を訪問し、趣味であるとか、女性のタイプなど色々聞いて、名簿を作る。バスを貸し切ってBBQなどで会員に楽しんでいただいています。

堺高石LC

クラブとして誕生してからまだ日が浅く、コロナの影響でこれといってアクティビティ等が出来ていない状況。その中でも、子ども110番であったり、ハンドブックの作成であったり、地域に密着して頑張ります。



6R2Z 8月30日(火曜日)

例年ですと円卓を囲んでの例会ですが、コロナ禍の中、スクール形式での開催となりました。ホストクラブの枚方LCの道廣会長のご挨拶からスタート。

津田地区ガバナーより本年度の基本方針の説明があり、パワーポイントを使用して、基本理念、重点項目をわかりやすく説明されました。

6月には、新クラブ交野おりひめLCとの合同例会を実現させました。



5R2Z 9月26日(月曜日)

地区運営について津田地区ガバナーが方針を説明され、ライオンズクラブのご紹介カードについて、西尾第1副地区ガバナーより、和歌山に地区ガバナー公式訪問に行かれた時にご紹介カードを実際に使われたお話の説明がありました。各クラブとの質疑応答があり、5月に結成した北摂未来LCの様子を地区ガバナーが質問され、西村会長が応答しました。

全体会議の総括を山中5RRCが、時間の許す限りお話しされました。

最後に、ホストクラブ・吹田LCの阪口会長の閉会のご挨拶で締めくくりとなりました。お疲れ様でした。



11R1Z 9月28日(水曜日)

各クラブの幹事さんの重要な役割として、例会における開始時間及び閉会時間の徹底をお願いされました。ライオンズクラブご紹介カードの説明並びに通行手形の説明等がありました。メンター、メンティーのためにも活用していただきたいとの事です。

東大阪LC

会員増強やアクティビティは、以前と変わりなくやっています。会員増強についても、入会してくれなくても、入りたいと思った人が入会する。

クラブは、自前でできているので、キャビネットの指図は要りません。いかにも、キャビネット側が社長で、東大阪LCが支店みたいな扱いは困る。支店ではなく、我々東大阪LCが社長でありたいから、キャビネットの指示は要らない。

東大阪河内LC

コロナにより年長者の例会参加が難しく、会費に含まれる食事会費を無くしました。若いメンバーの入会により例会時間の変更には迫られています。LCIFの使い道を知りたい。

大東LC

クラブ内の世代間に開きがあるので世代を超えて話さなければならない。

東大阪東LC

支部結成により子ども食堂が活発になった。しかし、正会員としての扱い方、支部としてのルール作りが曖昧である。親クラブメンバーと支部メンバーとの軋轢がある。

四條畷中央LC

女性会員の増強。

例会の議事録の必要性。「例会で決まったことを言った、言っていない」は困るので、議事録を徹底して証拠として残したい。通行手形の活用。



12R1Z 10月11日(火曜日)

八尾LC

英語弁論大会を3年振りに行った。入会が浅いメンバーさんが大変よく手伝ってくれた。YCEの派遣が中止で、弁論大会の優勝者を海外へ派遣できていない。その代わりに、弁論大会の優勝者を駅前留学のNOVAへの特典を与えている。YCEの文化交流が必要。

10月、11月に新しいアクティビティを始める。

柏原LC

メンバーの減少、周年を迎えるにあたってクラブシェアリングの使い方と、他クラブにメンバー増強方法を聞きたい。

松原LC

2年前から混合クラブでしたが、その後女性会員の入会がない。仕事関係で入会した場合、1人退会すると関係者が続けて退会する事になる。60周年に向けてイベントを考える。

八尾中央LC

世代間ギャップを感じる。Z世代の扱いに悩んでいる。女性会員がはじめて入会され、奉仕活動などで大きく助かっています。

八尾菊花LC

八尾JOINUSについて個人的賛成。出来てしまった事なので、時間が解決してくれる。クラブ内には、反対されている方もおられますが、発足されたメンバー中心に楽しくされているみたいで、良いと思う。



in 濟州島

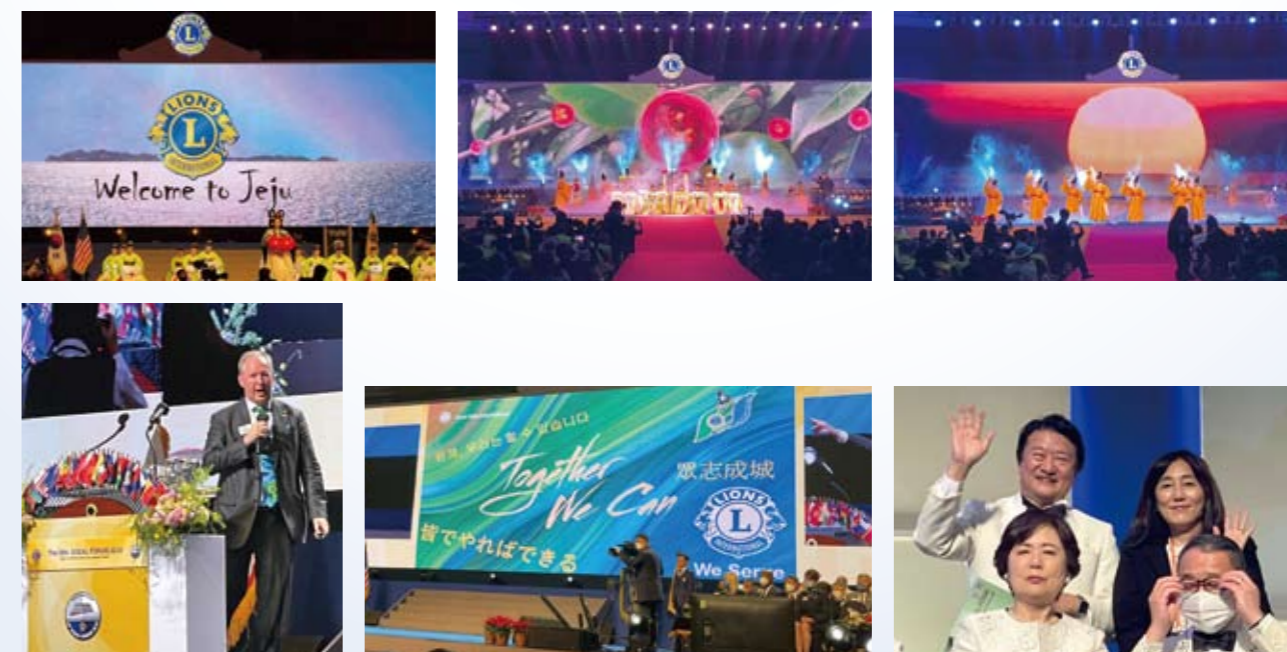
第59回東洋東南アジア・フォーラムは、11月24日(木)～27日(日)韓国・濟州島で開催されました。335-B地区からは119名が、335複合地区全体では331名が登録されました。

今回のフォーラムは、2023～2025年度国際理事立候補者・L城阪勝喜をOSEAL地域の諸国に紹介する場でもあります。

開会式は11月25日(金)ICC JEJUで盛大に行われました。会場に到着すると韓国はもちろんのこと、東洋東南アジアの様々な国のメンバーがたくさんおられました。会場周りは、軽食がとれるブース、ライオンズ用品を販売するブースなどがあり、華やかな雰囲気でした。

会場は中心にレッドカーペットが敷かれ、その両サイドにはメンバーがぎっしり埋め尽くされていました。そこにカラーボールが会場全体に投げ込まれ、タイの民族衣装によるきらびやかな行進によりイベントがスタートしました。音楽、花火、紙吹雪の舞う中、レッドカーペットを歴代の要職を務めた方々、日本からL城阪ご夫妻、L吉村、L津田ご夫妻と行進が進みました。行進のラストはダグラス・アレキサンダー前国際会長、そしてブライアン・シーハン国際会長ご夫妻と続きました。韓国民族衣装を着られた舞い踊り、各国の民族衣装を来た子どもたちが、ライオンズの歌を合唱し、コロナにより中止されていた東洋東南アジア・フォーラムが、久しぶりにメンバーが一堂に会し、その喜びを称えあうような開会式となりました。

また、今回は335複合地区 地区ガバナー合同晩餐会が開催され、他地区のメンバーとなかなか交流する機会がないメンバーも名刺交換や写真撮影など、とても賑やかな晩餐会となりました。最後に地区ごとに集合写真撮影で晩餐会が終了しました。





亀井良次元国際理事を偲ぶ会

2022年10月2日(日) リーガロイヤルホテル

元国際理事 L 亀井良次におかれましては、2021年3月24日享年94歳にてご逝去されました。生前のご厚情に厚く御礼申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りし哀悼の意を表する次第です。

本来であれば、「偲ぶ会」を早々に開催し、故L 亀井良次のご遺徳を偲ぶところではございましたが、新型コロナウイルス感染拡大により止む無く延期してまいりました。

10月2日(日)「亀井良次元国際理事を偲ぶ会」を挙行し、故L 亀井良次とご縁があった方々にお集まりいただき、思い出などを語り合いながら故人の足跡を振り返りました。

当日は、山田實紘元国際会長をはじめ遠方より元国際理事の方々に多数お越しいたご、故L 亀井良次のお人柄が偲ばれました。

故人を振り返る懐かしい映像は、L 柿原勝彦の力作で阪急電鉄、大阪医科薬科大学、そしてご遺族のもとへも足を運ばれ写真を集められました。ご遺族も懐かしいと大変感激されておられました。

今は、八葉に囲まれた高野の地で先達と語り合っておられることと思います。今後も変わらずライオンズの高揚に精進することをお誓い申し上げ閉会となりました。



2002年7月8日より12日まで大阪市で開催された第85回ライオンズクラブ国際大会を実現させた「熟慮の人」。国際理事時と元国際理事時代、キャビネット会議等諸会議には、場内を歩き回っては会員に気さくに声をかける姿がよく見られました。

「こういう場合にはどうするのか」細かな指示を出すのではなく質問を投げかけて会員に考えさせる等、プライベートの話はあまりしなかったと思いました。

21世紀の開幕が始まろうとしている中で、日本は3回目の国際大会の開催準備を進めていました。日本での国際大会開催は1996年3月の国際理事会で決まったのです。1969年と1978年(東京)に次ぐ日本での開催で2002年7月、大阪で開催されることになりました。

故L 亀井良次を委員長とする国際大会ホスト委員会が発足され、度重なる協議を重ね、335複合地区でさまざまな難問を解決して準備を進めていきました。特に335-B地区の委員は昼夜を分かたぬ重要課題にとり組み、何よりも画期的なことであったのは、大会の華インターナショナルパレードが公道を取り止め、テーマパークのユニバーサル・スタジオ・ジャパンの中で実現したことでありました。

主たる会場は大阪ドームと決定され、各種セミナー・委員会は大阪国際会議場と全てが順調とはいえないまでも、大阪市の協力もあり、問題を解決してそれぞれの会場が無事行されたことが何よりうれしいことでありました。

書き足せない内容も他にたくさんあり、335複合地区内の委員のメンバー並びに335-B地区の委員の最高の協力と理解があればこそと自負するものです。

当初は45,000人の登録を目標にしていたのですが、現実なんと49,000人余りの登録が実現し、ライオンズクラブ国際協会85年の歴史における国際大会では記録的なことでした。

こうして、新しい世紀における新たなライオンズの在り方を辿って、さまざまな動きが広がる中で、国際大会を目前にした5月、衝撃的な訃報が全国を駆け巡りました。

5月14日、団忠夫国際理事が急性肺炎により急逝されました。アメリカ・フロリダ州での国際理事会などに出席され帰国中に体調を崩して入院されたと聞きおよんでいます。

335複合地区は、かつてのあの激震の神戸・淡路大震災を乗り越えた勇気ある日々を思い起こし、衝撃の訃報を超越して、国際大会を大成功に導いたのであります。

故L 亀井良次は、大成功を収めた7月12日の国際大会閉会式で、ケイ・K・フクシマ国際会長から国際理事会アポイントに任命され、会員増強委員会とLCIF執行委員を与えられました。これからの日本のライオンズのため、そしてケイ・K・フクシマ国際会長と日本ライオンズの架け橋になって、協力いただいた皆様に少しでもお返しをしたいと考えておられました。

故L 亀井良次元国際理事 2021年3月24日没 享年94歳

(名誉顧問 竹本實生記)



【第35回国際平和ポスターコンテスト】335-B地区選考結果

テーマ 「思いやりのあるリーダーになろう」



335複合地区 優秀賞
335-B地区 最優秀賞

大阪大和川 LC 大阪市立南住吉小学校

志賀 晴斗さん



優秀賞



大阪高津 LC 大阪市立玉造小学校

藤本 結夏さん



岸和田中央 LC 岸和田市立八木南小学校

三ノ浦 真羽さん



御坊中央 LC 美浜町立松原小学校

山本 萌愛さん

佳作



大阪堂島 LC 大阪市立西天満小学校

藤原 摩悠菜さん



大阪西淀 LC 大阪市立姫島小学校

角倉 旺介さん



和泉中央 LC 和泉市立青葉はつが野小学校

川崎 莉帆さん



大阪夕陽丘 LC 大阪市立天王寺小学校

松山 晃貴さん



茨木 LC 茨木市立茨木小学校

大前 昊之郎さん



島本 LC 島本町立第四小学校

山根 佳凜さん



大阪福島 LC 大阪市立大開小学校

槇本 三四郎さん



豊中千里 LC 豊中市立新田小学校

林 花音さん



高槻 LC 高槻市立清水小学校

成宮 詩菜さん



枚方中央 LC 枚方市立長尾小学校

今井 美穂さん



堺仁徳 LC 堺市立浜寺東小学校

平松 琴音さん



池田 LC 池田市立池田小学校

當麻 美栞香さん



箕面 LC 箕面市立とどろみの森学園

大町 真喜子さん



枚方ローズ LC 枚方市立田口山小学校

藤原 有那さん



堺浜寺 LC 堺市立福泉小学校

川俣 優愛さん



堺登美丘 LC 堺市立登美丘西小学校

川田 果穂さん



堺フェニックス LC 堺市立新湊小学校

木村 慎一郎さん



泉南中央 LC 泉南市立雄信小学校

三浦 小春さん



和歌山 LC 和歌山市立藤戸台小学校

三木 優花さん



有田 LC 広川町立南広小学校

石川 結彩さん



串本 LC 串本町立橋杭小学校

大内 創太さん



東大阪河内 LC 東大阪市立英田北小学校

高井 梨帆さん



東大阪菊水 LC 東大阪市立八戸の里東小学校

副島 椿さん



富田林 LC 富田林市立高辺台小学校

山本 実穂さん



堺陵東 LC 堺市立はるみ小学校

原田 茅咲さん



いずみそれいゆ LC 高石市立東羽衣小学校

橋田 友翠さん



八尾中央 LC 八尾市立高安西小学校

中西 紗悠さん



藤井寺 LC 藤井寺市立藤井寺西小学校

山下 友里さん

L石原 由美子 1R1Z大阪はなみずきLC

カテゴリー7 健康関係



大阪はなみずきLC L石原由美子の心身の「健康」に関する講演の一部をご紹介します。

L石原は、「チアで関西から日本を元気に!」という理念で、2010年に株式会社JUMPSを設立。代表取締役を務めておられます。

皆さんチアというと、若い女性をイメージされる方が多いのではないのでしょうか。チアダンスは、「自分の元気で周りを元気にする」精神をもつスポーツです。老若男女、また障がいの有無を問わずこの精神を知り、日々を過ごすことで、心身の「健康」を保つことができると、L石原は主張します。

実際、L石原のもとに集まる生徒は、4歳から84歳まで幅広く、育成してきたチアリーダーの数は、延べ5,000人に上るそうです。

また、性別も障がいの有無も様々な多様性のあるチアリーダーを育成されておられます。その皆さんが、チアリーダーとして、自ら元気を出し、元気な声と笑顔でたくさんの人を元気にされるまで成長されたそうです。そして、楽しみながら心身の健康を手に入れられてきたということです。

L石原が提唱する心身の健康に繋がる講演内容は、以下の通りです。

- チームを作り体験型、参加型で実施
- 参加者にはチアダンスの特徴である、声を出し、体を適度に動かしていただく
- チーム全員で声を出しながらのハイタッチ、ニックネームの呼び合いなどで一体感を高め、チームワークを醸成
- 参加者が自然に笑顔になる場づくり
- 静と動を効果的に駆使した独自の進行
- 恥ずかしいという心をかなぐり捨てるための独自のトレーニング法



こちらは、参加者の特性(年齢層、属性、性別等)を見て、それぞれアプローチを変えます。これが可能なのは、L石原が年齢や性別、そして障がいの有無も関係無く様々な人を育成してきたからです。

チアリーダーと聞いて、「私は関係ない」と思わず、ぜひ例会などの講演に呼んでいただきたいと話すL石原。豊富な経験から、どのような場所でも必ず参加者に心身の健康を実感していただけるものにできると自信を覗かせており、頼もしく思いました。

今年からラジオパーソナリティも務め、ますます「チアリーダーを通じた心身の健康づくり」について積極的に発信していかれるとのこと。

最後にL石原からメッセージです。

「チアダンスは、どなたにでもできる生涯スポーツ。楽しみながら心身の健康を実感していただけます。是非一度体験してみてください!」

取材:広報(MC)委員 岡 博文



L藤井 修 1R2Z大阪東淀LC

カテゴリー4 技術関係



大阪市東淀川区に事務所を構え無人航空機(ドローン)を活用した事業全般に携わっています。

主な活動としては、ドローンを用いた空撮、点検、調査、測量、散布、防災、講習と多岐にわたります。特に防災での活用は地方自治体をはじめ、消防庁、警察、自衛隊とも合同訓練を積み重ね、大阪市及び東大阪市の危機管理室とは災害時協定を締結し、災害時の初動調査や要救助者捜索活動にドローンを活用する訓練を定期的に行っております。

具体的には災害現場における状況把握のためにドローンを飛行させ、消防及び警察隊員の安全な侵入経路や現場の状況、要救助者の状態を報告し、合わせて二次被害の想定をするなどといった活動です。全国にいるドローンの仲間たちとのネットワークを構築することにより国内のどこで災害が発生しても連携をとれる仕組みを作っています。もちろん災害時の活動については無償ボランティアで駆けつけています。

講習業務においては5年前から国交省認定の【民間講習団体】としてスクールを開講しておりましたが、令和4年12月5日よりドローンの操縦が【国家資格】に変わることにより、弊社は国交省の【登録講習機関】として教習所を開校することとなりました。私個人としてはこの講師として受講者の教育指導を行うことは勿論ですが、免許制度施行時は、みなし公務員として国交省の【指定試験機関】(車でいうところの門真運転試験所)の教官としてもお手伝いする予定となっています。

空撮(商業撮影)については、映画、CM、企業PR、観光地撮影、損保会社の空撮資料撮影とあらゆる場面で撮影依頼を頂戴しておりますが、最近の変わり種としては2022年に淀川花火大会のドローン空撮を担当させていただきました。(TV大阪放映)

このように、挙げ始めればきりが無いほどドローンの活用シーンは多岐にわたっております。ボランティアとしての活動も、メンバー皆様の事業にも活用いただけるドローンの世界に是非興味を持っていただきたいと思います。

335B公式 ドローン同好会へのご入会もお待ちしています。

株式会社ドローンプラス 2017年設立

【主な取引先業界】

各省庁、地方自治体、各部局、各電力会社、在阪テレビ局、建設会社、大学、専門学校、JA、映像制作会社、など

取材:広報(MC)委員 岡 博文



L藤 三郎 3R1Z大阪福島LC

カテゴリー 6 文化関係



大阪市福島区野田・玉川地区は、江戸時代「吉野の桜・野田の藤・高雄の紅葉」と関西の三大花名所の一つに数えられており、野田藤の発祥地でもあります。

この野田藤は惜しくも第二次世界大戦で消滅しましたが、大阪福島LCはその復興と啓発活動を長年のアクティビティとする一方、区民のボランティア団体「のだふじの会」も藤の維持管理を行っています。これらの活動の結果、今では福島区は大阪近郊の藤の名所として知られるようになりました。

両団体に所属するL藤は、先祖代々野田藤の管理に携わる関係上、当初は全くの素人でしたが、最近は園芸の専門団体からも講演依頼をうけるほどのスペシャリストとなりました。

令和6年に発行される新5千円札の裏面のデザインに、野田藤が採用されることが決まり、これからますます忙しくなりそうな予感をされています。

取材:広報(MC)委員 佐々木 健



L榛木 美恵子 4R2Z大阪コスモスLC

カテゴリー 7 健康関係



私は現在、大阪心理相談センターの所長をはじめ、教育委員会のキダーカウンセラーも務めております臨床心理士です。

社会では、青少年問題、少子高齢化問題の真ただ中です。子どもの虐待、育児放棄、最近の幼稚園バスに取り残された園児の被害などなどは、皆、成人、大人が抱えている問題でしょう。この人的災害を根本的に見直す必要が急務と考えます。

当相談センターではカウンセリングのほか、内観法(日本で誕生した自己観察法)の研修所もあり、合宿もでき、和風の落ち着いた雰囲気の中で、これまで多くの人が、幸せと心の豊かさを求めて研修が行われています。

また集中力を高め、本来の自分を発揮できるようなメンタルトレーニングをし、スポーツ、芸能、学問にも広く活用され高い評価を得ています。

取材:広報(MC)委員 佐々木 健



L渡邊 千芳 5R1Z池田LC

カテゴリー 6 文化関係



池田ライオンズクラブ 2000年11月 入会

経歴

1953年(S28年)12月6日生まれ
 1977年(S52年)関西大学法学部卒業
 1992年(H4年)池田市役所 退職(在職14年)
 1999年(H11年)池田市議会議員初当選 以来 6期連続当選
 2011年(H23年)と2019年(R元年)は池田市議会議長に就任されました。
 2021年 議員退職後 認知症高齢者のグループホームや障害者の生活支援の事業を行なっておられます。

地域活動

綾羽町室町会役員、くれは地域コミュニティ推進協議会相談役、呉服商店会役員
 法園寺檀家総代、雅詠流謳歌吟詠会顧問、池田小学校PTA OB会会員、
 生涯福祉の社会福祉法人役員、NPO法人の役員兼務

文化活動

人形劇団せっぽく座の座長をされており、綾羽子供館にて春、秋に定期公演など

1987年に人形劇を通して子ども文化の普及をめざそうと、<人形劇フェスティバルIN池田>を主催し、その後池田市民文化会館で30年ほど子ども文化のイベントをされました。

2014年から池田駅から五月山にかけて点在する9カ所のお寺で池田子ども花祭りを開催されています。



これからしたい活動

- ①介護が必要な高齢者や障害者の生活支援の仕事の延長で、校区の地域福祉がよりよくなる力添えをしていきたい。
- ②人形劇を通して図書館を知的な楽しい娯楽の拠点にしていくため、いろいろなイベントを企画提案していきたい。
- ③これからの課題を解決する一つは自治意識の高い市民による地域分権と圏域行政の推進という統治機構改革だと思います。その勉強会をし、各議会に提言したいと考えています。

取材:広報(MC)委員 中尾 克雄

L服部 廣志 5R1Z豊中北LC

カテゴリー3 法律・税務関係



神戸大学法学部を卒業後、司法研修所を経て、判事補任官、山形地方裁判所、東京地方裁判所で民事、刑事事件を、神戸家庭裁判所で少年事件を、神戸地方裁判所、神戸簡易裁判所において民事、刑事事件を担当した後、大阪高等裁判所、大阪地方裁判所近くの大阪市北区西天満において、奥さん弁護士、娘さん弁護士とともに、服部法律事務所(TEL06-6361-7711)を運営している。

特に専門分野というものはなく民事、刑事、家事事件など幅広く業務を行っているものの、相続について「相続をする(相続の単純承認)」と「相続をしない(相続の放棄)」とともに、相続の第三の方法である「相続の限定承認」についての実務的な解説書「限定承認の実務」を日本で最初に刊行したことから「限定承認の第一人者」とも言われ、全国各地の司法書士会、税理士会、財産管理関連団体などにおいて講演もしている。

その他、日弁連法務研究財団、日本賠償科学会、法とコンピューター学会などに所属し、金利計算の先駆的プログラムである「金利及び弁済金額計算に関する法律と実務・付録プログラム 元利計算くん」、公刊された最初の限定承認手続きの実務解説書である「改訂2 限定相続の実務」、過払い金に利息を付した日本最初の計算プログラムを付録とした「消費者金融金利計算の実務と 返せ計算くん」、民事訴訟の仕組みを簡単、明快に解説した「増補 中学生にわかる民事訴訟の仕組み」、捜査の二重構造によるトリックと刑事裁判の実態に迫る「刑事訴訟の仕組み」、利息金計算の2種類の計算構造と5種類の計算方法の存在等を解説した「貸金業法施行規則別表算式と貸付条件記載・揭示・利息金計算＝金利の黒本」など 弁護士ら専門家の中でロングセラーとなっている著作などがある。

「嘘見破るくん」、「ライブニッツ係数計算書」、「弁済供託計算書」、「新・返せ計算くん」、「新・端数期間暦年計算書」、「延滞金計算くん」、その他多数の法律電卓プログラムを考案し、有償無償で頒布している。

税理士会、行政書士関連団体、青少年健全育成会その他の団体において、多様な講演活動等もしている他、各種団体に対する連載執筆活動等もしている。

法律系インターネットの世界においては、本名よりもハンドルネームである「弁護士五右衛門」の方が著名でもある。「知識や知恵は、先人のものを盗め!」という基本的発想をハンドルネームに託している。

尚、「ゆうあい、で見たとご連絡を頂ければ、いつでも、ご相談に応じる」とのことであった。

取材:広報(MC)委員 中尾 克雄

L田畑 興介 6R2Z枚方ローズLC

カテゴリー7 健康関係



将来、柔道整復師を目指す学生さんに向けて熱心に授業を行う田畑氏。この日は膝の靭帯・半月板が損傷する原因と損傷した部位を特定する講義の後、実習用のベッドでグループにて実技演習を行い、各ベッドを巡回しポイントを指導されておりました。指導を受ける生徒さんも積極的に田畑先生の実技を動画に撮るなどして熱心に授業を受けておられます。

ここ京都医健専門学校では1学年約90名の生徒さんが3学年在籍されており、田畑氏はこれまで15年で約1,500人の生徒さんを指導してこられました。今では卒業生の方と食事に行ったり、経営相談を受けることも多いとか。

実は田畑さん、非常勤講師として教鞭をとられており、本業は9店舗の鍼灸整骨院を経営されるオーナー様です。高校を卒業して何気なくこの世界に入ったとのことですが、初めて勤務した整骨院で自分には納得できない診療や治療が行われており、もっと自分で勉強して患者さんが安心・納得できる治療を身につけたいと思ったそうです。そこで、整骨院ではなく病院のリハビリテーション科で修業を積む中でお医者さんと一緒に仕事をすることが多く、医学的な知識が知らず知らずのうちに身に付いたと言います。せっかく身に付けたこの知識を同業者の皆さんと共有してこの業界を良くしたい!との思いで定期的に勉強会を開催したそうです。会を重ねる毎に参加者も増え、NPO法人を立ち上げるまでに成長したとのことでした。

そうやって人に教えることが楽しくなり、柔道整復師の教員免許を取得され、現在は週3日間京都医健専門学校で勤務されております。

ライオンズクラブでの講演では「ロコモティブシンドローム」いわゆる年齢を重ねることによって筋力が低下したり関節や脊椎などの病気を発症し、立ったり歩いたりといった移動機能が低下する状態にならないように普段から心がけることや運動療法をご講演頂きます。また趣味のブラックバスフィッシングでは大会に出場されるほどの腕前で仕事も趣味も全力投入!53歳になっても何事にも好奇心旺盛な性格はまだまだ健在です!と非常にパワフルな方です。

取材:広報(MC)委員 淀 大輔



L八杉 佳代子 8R1Z岸和田コスモスLC

カテゴリー7 健康関係



カイロプラクティックとは、ギリシャ語の「Chiro(手)」と「Prakticos(技術)」を組み合わせた言葉で、機械を使わずにオールハンドで背骨や骨盤の歪みを矯正する治療法。健康に生きていくために一番土台になる骨格と体を包んでいる皮膚を内からも外からも健康にしましょうということを、学校の義務教育の保健体育の中で教えることが出来ればいいなど自身の夢を語られるのが、「美容カイロプラクティックなごみ」の院長L八杉佳代子。

ご自身が子供のころから体調不調で悩んでいたのと、お母様が介護で体調不良になったのをきっかけに、カイロプラクティックのお仕事を選ばれました。

日本では病気になってから治療するということがほとんどで、「予防」の意識がまだまだ足りないのが現状。

お仕事の内容は、予防医学としてアメリカ発祥のカイロプラクティックを使って、骨格を整えることで生活習慣を改善させて、病気にならないための予防健康法を伝えて、健康寿命を延ばすこと。痛くなってからお医者さんに頼るのでなく、痛くならないように「予防」したり、虫歯にならないように「歯磨き」したりするのと同じように、病気や痛みで苦しまなくて済むように「背骨磨きしましょう」というのを伝えていくのがお仕事だそうです。

問診でどこが辛いかなど体の状態をじっくり聞いたうえで施術するので、安心できるということもあり、患者様の年齢層は幅広く、2歳から98歳までいらっしゃるそうです。

施術の後は、楽になった状態を保つために、自宅で出来る骨盤を整える運動や猫背を伸ばす運動を教えたりとか、食事で気を付けることとか、普段の食事ですり足りないものはサプリメントで補っていただくことをアドバイスしたりなど、自宅で健康を維持するための生活アドバイスをしっかりしてもらえます。

目標は、当院に通っていただかなくていい体をつくることだそうです。

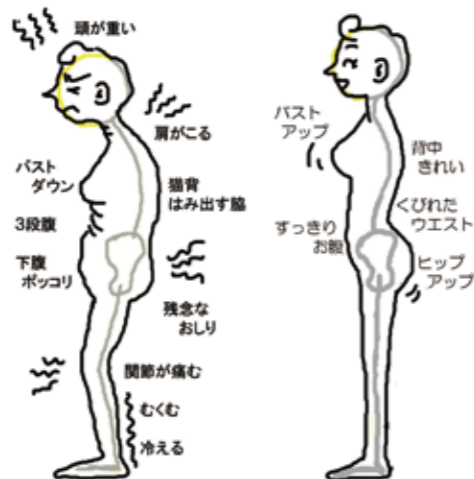
「開院されてから24年、昨今のコロナ禍で、今まで大事だと思っていたことがふるいにかかってより厳選されるようになった。本当にお互いが大事な存在だと思えるような方が明確になり、そうでない場合は自分のもとから離れていくことを感じ、与えられた命の限られた時間をどう大事に使うかということに改めて気づかせてもらえた。」と話していただきました。

ライオンズクラブに所属されている志の高い方に、健康で元気で奉仕活動をし続けられるために何かお手伝いできることがないかなということでライオンズ大学校の講師登録をされたとのことでした。

スピーチ内容は、ご自身とご家族の健康管理のために姿勢健康法を分かりやすく説明していただきます。



取材：広報(MC)委員 成子 年男



L成子 年男 8R2Z岬LC

カテゴリー4 技術関係



①どのようなお仕事でしょうか？

大阪府の最南端のまち岬町にて、大阪では珍しい、ブルーベリー狩り農園を運営しています。

2018年から開園準備を進めて、2020年の夏にオープンし、2022年の夏に3シーズン目を迎えました。

完熟のブルーベリーがたわわに実る6月から8月にかけて、スーパーには売っていない、ここでしか食べることが出来ない、高品質で大粒の甘くて美味しい、多品種のブルーベリーの収穫体験を楽しんでもらえる観光農園です。

関西のたくさんの人に、甘くて美味しいブルーベリーを、数品種、食べ比べしてもらいながら、健康で、楽しい、ライフスタイルづくりのお手伝いをしていきたいという想いでやっています。

②このお仕事を始められたきっかけは？

生まれ育った大阪・阪南市およびその周辺は、人口減少と少子高齢化が徐々に進んでいます。学んだ小学校や中学校も廃校になり、商売されていたお店なども減っています。老朽化した施設や空家なども増えてさみしくなっています。

父親が畑仕事をしていた岬町にある農地も長らく耕作放棄地状態になっていました。そんな地で、せめて耕作放棄地状態の農地で何かお役立ちできることがないかと、以前から頭の片隅で考えていました。

家族でフルーツ狩りに行くのが好きで、いちご狩り、ぶどう狩り、桃狩りなどあちこちの農園に行っていました。かなりの田舎の地でも人気の農園は多くの家族連れなどで賑わっていました。ある年の夏休みの家族旅行で中部地方に行ったときにブルーベリー狩り農園を知りました。大阪にはほとんどなかったのを面白いなといろいろ調べ始め、深みにはまり、脱サラしてブルーベリー農園を立ち上げようと決心し、50歳を機に勤めていたIT企業を退職しました。文字通りの畑違いの仕事です。



③日本ライオンズ大学校の講師としてどのようなスピーチ内容でしょうか？

今まで行ったことあるフルーツ狩り農園とは違った農園にするために、スマート農業の技術やサラリーマン時代に経験してきたことをベースに事業計画書を作成し、計画を実行していきました。

- 農業や観光農園やブルーベリー栽培の知識・経験はゼロ
- 岬町での人脈はゼロ、近隣に学べるブルーベリー農園なし
- あるのは岬町にある耕作放棄地状態の農地のみ

という状態からスタート。そもそも新規事業はそんなにうまく行くはずはありません。しかも自然相手のことなので一人ではどうしても出来ないコトがたくさんあります。オープンまで2年半を費やしましたが、2022年のシーズンもたくさんのお客様がブルーベリー狩りを楽しんでいる姿を見たり、直接、感謝されたりすると本当にやってよかったなと思えます。まだまだやりたいことがたくさんあり、夢は膨らみ続けています。

さまざまなエピソードを交えながら、どんな農園で、どのようにしてオープン出来たのか、今後どんな農園にしていきたいのかなどをお話させていただきます。

取材：広報(MC)委員 成子 年男



L津村 尚志 10R1Z御坊中央LC

カテゴリ 6 文化関係



81歳の地域古代史専門家
中学生の時の疑問が65歳になって解き明かされたロマン
今でも現地取材し知識を深めている

【ゲスト】
日本ライオンズ大学校講師
10R1Z 御坊中央ライオンズクラブ所属
津村 尚志 (つむら たかし) 氏
年齢81歳 ライオン歴44年
株式会社日高新報 代表取締役会長
得意分野:日本史 なかでも特に古代史

【聞き手】
広報(MC)委員 中川 彩(白浜南)

【インタビュー】

中川) 長年新聞記事制作などで様々な取材をされている大ベテランを目の前に緊張しますが、インタビューをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

津村) 私のお話で良ければ、おこがましいですけれどもよろしくお願いいたします。

中川) まず津村さんで自身のことを教えていただけますか。

津村) 私は30歳の時に東京からUターンして日高新報に入社し、今年で51年になります。私たちが今生きているこの地元について“できる限り知る”ということは大切で「過去があるから今がある、今があるからこそ子どもたちの未来がある」と考えるので、日高地方を少しでも正しくPRして地域の発展に繋がりたいという想いを強く持っています。

中川) 津村さんの専門は古代史ということですが、古代史に興味を持ったきっかけはありますか？

津村) 私は御坊市立湯川中学校に通ってました。近くの線路を渡ったところに「宮古姫」の銅像がありました。そして近くの山肌に「宮古姫」の壁画が飾られていました。その宮古姫がお生まれになったのがこの地で、地名を「九海士の里」と言います。「海士」とあるのに地名の由来が「9人の侍」と記されており、なぜかな？と疑問に思ったことが古代史に興味を持つきっかけとなりました。

中川) そこから掘り下げていったのですか。

津村) そうですね、中学高校と一番好きな学科が日本史でしたから入って行きやすかったということですかね。

中川) 中学生の時から興味を持ち始めてどのように調べていきましたか？

津村) 大学を出てからは会社の仕事で御坊を離れていました。それから30歳でUターンして日高新報という日刊地方新聞に入社しました。当時は、それはもう大変な新聞社でして、1週間に2~4日徹夜しないと新聞が発行できないというピンチが続いていました。入社以来17年くらいは新聞発行に全力を尽くしていたので、地元の古代史を調べる時間はありませんでした。

中川) 仕事が落ち着いてから調べ始めたのですか。

津村) はい、調べ初めました。

私がこの地に帰ってきた昭和48年は人口3万5千人だったのですが今では2万2千人。人口流出が激しく過疎化が進んでいる中、この地をなんとか発展させなきゃいけない、元気を出させなきゃいけない、という想いでいっぱいになりました。

人が減っていくのならリピートしてもらえるような魅力ある観光資源をきちんと開発し、人に来てもらえば良いと考えました。観光客が多くなればそれに携わる働く人が増えていくので、人口流出にも歯止めがかかるし、人口増加に繋がるという想いをもちました。

観光資源としてこの地の一番の大きな目玉は「道成寺」です。「道成寺」を文部天皇に建立させたのが「宮古姫」。「宮古姫」は聖武天皇の生母です。聖武天皇は東大寺でも有名です。その偉大な天皇の生母が地元出身であるということ。そしてもう一つの目玉が「岩内一号墳」で、これは有間皇子の古墳です。この二つの活用は必須で、さらに全国一短いローカル私鉄である紀州鉄道、また盛大な祭りがある小竹八幡神社もあります。その小竹八幡神社の守り神が神功皇后と応神天皇です。

日高地方には神功皇后の足跡が各所にあり、その足跡からこの辺りの地名が付いています。そして「九海士の里」の名称もその一つで、神功皇后がこの地の住民に大変世話になったことのお礼と地域を守るために9人の兵士を残していった、ということです。

そこで私は初めて知ったのです。9人の侍が残された漁村であるから「九海士の里」という名称が付いたということ。それは、私が古代史を勉強したことで中学生の時の謎が解けた瞬間だったのです。

中川) 中学校の時の謎が解けるまで、どのくらいの年月が経ちましたか？

津村) 謎が解けるまで・・・、
13歳の謎ですから、解けたのが今から15年前くらいですから、さあ、勘定してください(笑)
私が65歳くらいの時に解けたのですから、今は81歳です。
50年余りぶりに解けたということですかね(笑)

中川) すごーい!ロマンがありますね(笑)

津村) ありがとうございます(笑)
それが解けたことをきっかけに地名にさらに関心を持つようになりました。

中川) 最近はどのような活動をしていますか？

津村) 地名には必ず由来があることを知ったので、その真相を確かめるために取材をしています。日高地方の日高という地名についても由来のある現地に足を運びました。これからも古代のことを調べたくて取材にあちこち行きたい。特に神功皇后と応神天皇のことを調べるとなると九州に行くこともあります。そうなるクラブ例会の皆出席ができないので、現在は名誉会員として所属しています。先週も取材に1泊2日で行ってきたところ。

中川) 現地に行くと新たな発見があるのですか？

津村) ありますね。だから現地を踏まないとダメです。実際に行ってみると知らないゆかりの地がありますね。我々新聞社の仕事は“取材”が記事を書く上での根本であり原点です。

中川) 最後になりますが、「ゆうあい」のこの記事を読んでくださっている方にメッセージをお願いします。

津村) 「ゆうあい」はライオンズの基本だと思っています。一番に「友愛・友情」というのがあってこそライオンズの値打ちが高く、大きくなっていると、入会以来ずっとと思っています。だからといって私は「ゆうあい」を全部読んでいないわけでもないのですけれども、「ゆうあい」という題名が付いていること自体もライオンズそのものを表していると思います。ライオンズになった以上は「友愛・友情」は「奉仕・We Save」と同時に重要であると私はそう信じています。

中川) ありがとうございます。

津村) はい、ありがとうございます。

【取材後記】

地域観光は地域の事を正しく知り理解したうえで開発や発展させていくことが重要であると感じました。観光資源の基礎能力が最大限に活用されて地域観光が発展していくことはとても楽しみです。津村さんお忙しいところ取材に応じただきありがとうございました。



L清水 柁人 12R2Z藤井寺LC

カテゴリー7 健康関係



①お仕事内容は？

妻が経営する眼科クリニックでの理事業務、又併設するコンタクトレンズ販売会社取締役を務めております。

②この仕事を始められたきっかけは？

元々家業がアパレル業だったのですが、繊維を扱う仕事はホコリが舞う中での作業が多く、私の持病のアトピー性皮膚炎にはつらい仕事で...

その当時の彼女、現在の妻との結婚を機に何か妻と一緒にできる仕事はないかなあと考え、コンタクトレンズ販売会社に務めて経験を積み、独立して現在に至ります。

③どのような悩みや症状を持った方が多いですか？

眼科業務では白内障や緑内障、アレルギーといった一般的な治療がもちろん多いのですが、私共は弱視や斜視といった小児眼科にも注力しており、他院に比べ小児の診療が多く、お孫様と御一緒に来院頂く方もいらっしゃいます。

コンタクトレンズ業務では、現代人の宿命であるスマホ依存により、近くのピントが合わない悩みをお持ちの方が多く来られます。

遠近両用コンタクトレンズ処方をはじめ、近くのピント合わせについての最新情報や技術に注力し、対応させて頂いております。

④眼科がすぐ隣にあります。連絡プレーなどエピソードがあれば教えてください。

いつも使っているコンタクトレンズをご希望の患者様を診療したところ、自覚症状が無いにも関わらず、緑内障や網膜剥離を認め、治療を要することが度々あります。症状がなく進行することが多いのも目の病気の特徴です。定期的な検診をおすすめします。

⑤お客様からはどのような声を聞きますか？

よく私共に患者様から「優しい」とか「わかりやすい」といったお褒めの言葉を頂きます。患者様に寄り添い、患者様の悩みを共に感じる事が私共のモットーです。医師はもちろん、スタッフ全員が眼科治療の知識の刷新を続け、患者様に寄り添った治療を続けております。

⑥コロナで様々な環境が変わりましたが、どのように対応してきましたか？

クリニックですので、衛生面での徹底はもともと行ってまいりました。それに加えて、ウイルス対策用空気清浄機設置等、患者様が衛生面で安心感を感じて頂けるよう心掛けております。

また、普段の生活から感染しない行動を取るよう医療従事者として自覚ある行動を指導しております。

⑦スピーチの内容にある「医師でない立場からのアプローチ」がとても興味深いです。具体的にはどういったないようでしょうか？

プラセボ効果という言葉をご存知でしょうか？医師はこの方法をうまく使い、治療に役立てています。

ブルーベリーやブルーライトカット等、目に良いといわれているものはたくさんあります。果たして本当に効くのか？その効果の有無について事実に基づき正直にお話したいと思っています。

また、老眼や白内障など歳を重ねるにつれ進行する症状を和らげる方法を分かりやすく解説したいと思っています。

取材：広報(MC)委員 桑野 聡史



L佐竹 扶美 12R2Z南大阪みささぎLC

カテゴリー4 技術関係



①お仕事内容は？

パソコン操作指導をはじめ、ホームページの制作・官公庁関連として広報制作のお手伝い、ハード購入導入設定などなどコンピュータに関するあらゆる業務をおこなっております。

②この仕事を始められたきっかけは？

父が工務店を経営していたときに、事務員としてワープロを使って書類を作成してほしいといわれ、ワープロスクールに通ったのがきっかけでした。まさか、自分が起業して早20年も経営するとは想像もしていませんでした。

③どのような悩みや症状を持ったお客様が多いですか？

弊社のシステムが予約制で1対1の指導ということもあり、経営者の方がこっそり学びにこられることが多いです。今さら従業員におしえて〜とはいいいにくいそうです(笑)

また最近では高齢者の方がスマホの使い方を学びにこられることも多く、時代のニーズに合わせたカリキュラムを常に考えております。

④学校でもプログラミングがはじまりました。どのような取り組みをされていますか？

6年前からヒューマンアカデミーのFC店になり、アクティブラーニングに力をいれております。

当初からタブレットを使ったロボット製作やパソコンを使ったプログラミング講座を開講しておりましたが、2020年からプログラミングと英語が必須化されましたので、年少児からもとりくめるカリキュラムに変更しております。

ギガスクール構想がこのコロナ禍でようやく加速し、公立小中学校に通う子供もパソコンを1人1台持って帰ってくるようになりました。それもあってか、保護者の意識もようやく変わりつつありますので、論理的思考力を身に付けてもらい、AIに負けない仕事ができる大人になってもらうようにこどもたちを育てていきたいと考えています。

⑤お客様からはどのような声を聞きますか？

個人レッスンのお客様からは

- ・1対1なので聞きやすい
- ・何回聞いても怒られない
- ・最新情報を聞ける

などなど喜びの声をいただいております。誰にももれる心配がないので、お悩み相談にも乗っています(笑) 今後も、みなさんが居心地のいい空間をつくってまいります

⑥コロナで様々な環境が変わりましたが、どのように対応してきましたか？

休業要請がかかったときは、オンラインレッスンに切り替えて対応してきました。現在も、こちらにこられない方はハイブリッド型で対応しています。

⑦ライオンズクラブにICTをと講師コメントにお書きになられていますが、具体的はどのような使い方が考えられるか教えていただけますか？

SDGsの取り組みの一つとして、ペーパレス化をライオンズクラブも目指すべきだと考えています。

システムにお金をかけることなく、小さなことからおきかえていくスタイルをめざしていくためにGoogleアプリ(無料)を活用することを伝えていきたいと考えています。

たとえば、メールでファイルを添付してそれを端末で確認をして..という形をペーパレスと考えている方がいますが、もちろんこれもペーパレス化ですが、添付された文書に間違いがあった場合を差し替える作業が必要だと思えます。その時に、またメールに添付しなおしてということを繰り返すことでファイルもどんどん増えどれが正解かわからなくなる。よくあることですね!

この作業をクラウドにあずけたファイルを共有する形にかえれば、後戻り作業がすくなくなり、常に最新の文書を確認することができます。

またファイル容量を気にすることもなく、それぞれの端末にコピーが残ることもありません。

このように小さなことからスタートすることで事務局の手間を減らし、経費削減・作業効率アップ、そしてこのことをメンバーの事業にも取り入れてもらえればスモールdXが実現すると考えています。

取材：広報(MC)委員 桑野 聡史

